

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22 年 1月24日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902280		
法人名	有限会社 環境設備		
事業所名	グループホーム プランタンⅢ		
所在地	旭川市9条通16丁目24 (電話) 0166-25-0010		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成22年1月21日	評価確定日	平成22年3月6日

【情報提供票より】 (平成22年1月2日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 7月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤	9人, 非常勤 11人, 常勤換算 10.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	1階建ての		1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費 5,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要 (1月21日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.4 歳	最低	66 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、東郷整形外科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営母体のプランタングループは高齢者福祉事業、それを支える人材育成事業を合わせて展開しており、明確な法人理念を表明して運営が行なわれています。当ホームは、施設長はじめ管理者が職員の牽引役となり、職員全員でホーム独自の運営・介護理念の実践に熱意を持ち取り組んでいます。利用者の尊厳を重視する姿勢は、利用者の自己決定を引き出し、常に利用者本位を迫る支援に結びつき効果を上げています。また、利用者と共に支え合う家族との関係を大切に、毎月職員が心を込めて送る家族への手紙は好評をいただいています。施術サービスや機能回復訓練、レクリエーションが豊富であること、職員育成、美味しい食事の提供、家賃設定が低額であることも特徴の一つです。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 自己・外部評価の結果について、ホームの今後の取り組みを勘案、検討し実情に合う改善策を講じて継続的に進められています。評価の意義の理解と活用は職員全員のものとなり、市町村との連携も協働関係が図られるなどの改善状況に至っています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	②	外部評価のための自己評価とせず、運営やケアサービスの質確保・向上に向け、職員全員が参加して評価を実施し、個々の気づきや振り返りとなっており、施設長・管理者が最終的に纏めています。自己評価で出された課題は早期に取り組む姿勢が見られます。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 3ヵ月に一度の開催ですが、今後はホーム行事と会議を同一日に設定する機会を持ち、多くの家族参加をいただきながら、2ヵ月に一度の開催について検討し、この内容を運営推進会議に提案することとしています。ホームの現況報告は、問題点についても議題化しメンバー間で率直な意見交換が行なわれ、協議された内容を運営に反映しサービス向上に活かしています。自己・外部評価結果を会議で更にモニター・評価していただく考えを示しています。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族への報告は利用者に合わせて内容や工夫をもって丁寧に行なっています。家族の生の声や求めている内容をその立場に立って傾聴し、いつでも気軽に伝えていただけるような雰囲気や機会を作っています。内部・外部に苦情相談機関の整備や面会カードに要望欄を設け、表出された内容は検討し運営に反映させています。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 利用者の生活圏域をイメージし、利用者の生活を確立するため地域との関係強化を目指しています。ボランティア活動が推進され、中学校の体育・文化祭等への訪問や職場体験学習の受け入れで相互交流が実現しています。地域住民の方々に助け合うきっかけを持つ取り組みも進められ、今後は地域ネットワークである町内会との相互交流を目標としています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	共生精神を根源とするホーム独自の理念と実践に向けた介護理念を共に標榜しています。地域密着型サービスとして何が大切かを踏まえ、地域や利用者・家族のニーズ、ホームの状況の変化によって現状に合う理念を見出す高い意識を表明しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	平成20年に見直された理念の実践に向けて、運営システムの円滑化を図ると同時にケアサービスのあり方の指針を示しています。日々の職員間の話し合いの中で理念を掘り下げて確認しており、サービス提供場面での具現化に努めています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者の生活圏をイメージし、利用者の生活を確立するため地域との関係強化を進めています。ボランティア募集等の掲示によりボランティア活動が推進され、中学校の体育・文化祭等への訪問や職場体験学習の受け入れ等相互交流が実現しています。町内会ともできる限りの接点を持つ意向を示しています。	○	ホーム周辺の地域ネットワークの環境課題があり、双方の結びつきが困難な状況ですが、ボランティアや職場体験学習を受け入れ福祉資源を地域に還元する取り組みを行なっています。地域ネットワークとの相互交流も実現できるよう協力者を募り今後に向けた働きかけを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価のための自己評価とせず、運営やケアサービスの質確保・向上に向け、職員全員が参加しての評価を実施しています。外部評価については、あらためて職員間で点検する過程として活用し具体的な改善に取り組み、今後は、評価結果を運営推進会議で更にモニター・評価をいただく考えを示しています。		

旭川市 グループホーム プランタンⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	調査時点では3ヵ月に一度の開催ですが、今後はホーム行事と会議を同日開催し、多くの家族の参加をいただきながら、2ヵ月に一度の開催とする考えを示しています。ホームの現況報告は問題点もオープンにし、協議や検討が進められ内容をサービスの向上に繋げています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者のことについて、市の担当者と課題解決に向けた協働の取り組みで早期解決に至っています。市民福祉の充実を図る意味でも、運営推進会議に行政の担当者の参加が推進されるよう、ホームとしても益々の協力関係を構築したい考えを示しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、ホームからのお便りのほか、利用者の様子や職員の思いをきめ細かく伝える個人別の手紙を職員が執筆し、写真を掲載し送付しています。定期、適宜の金銭・健康管理報告はもとより家族と接する機会では、知りたい点を考慮した報告が行なわれています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が求めている生の声を気軽に伝えられるような雰囲気や機会を作り、利用者・家族の立場に立ったサービス実施に努めています。内・外部の苦情相談機関の設置や面会カードに要望等の記入欄を設け、表出された内容を検討し運営に反映しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、職員の資格取得への配慮や住宅、親睦会などの福利厚生の実施、グループ内研修を強化し職員を育てる取り組みを交えながら、離職や法人内異動を最少限に抑え馴染みの職員が継続的に支える体制に努め異動によるダメージを防いでいます。また、施設長・管理者は職員の意見やアイデアを積極的に取り入れながら、目標高く牽引し働く意欲向上に繋げています。		

旭川市 グループホーム プランタンⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長は職員の育成計画を具体化するための方針や姿勢を表明し、系列ホームと共に内部研修の充実や外部研修の積極的な受講を促し、職員個々に応じた段階的、計画的な学びの機会を確保しています。働きながら技術や知識を身につけていくための新たな方策の一つとして書籍の整備に着手しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流や連携を積極的に進め、協働しながら質向上に取り組んでいます。系列ホームとの交流をはじめ、毎年夏場に他ホームと職員の相互見学研修を実施し、他を知ることによる自己サービスの気づきに繋げてホーム全体のものとし実践的な学びやサービスの質向上に役立っています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談から利用に至るまで利用者の視点に立ち、納得いただけるまで時間をかけ対応するなど、柔軟に支援しています。ホーム見学の他、利用者が居る先へ訪問して家族等からも十分話を聴き、ホーム生活の長所のみならず、短所についてもオープンに伝え、利用者にとっての良い環境作りを家族と共にゆっくと作り上げています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者の日々の想いを共感し理解することに努め、様々な情動をお互いに感じ取りながら、共に過ごし合う様子が窺えます。年長者の利用者から、生活の技や知識を教えていただく場面や利用者から労いを受けるなど、暮らしの中でお互いを分かち合える関係性が構築されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	介護理念の「その人らしさを発見しよう」が利用者の生活を支えるアセスメントの根幹に結びついています。職員は日々、利用者と同じ目線に立つことを意識しながら、利用者の心の声にも向き合い思いや意向について把握し、職員間での共有を図っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現状や意向を大切にし、利用者がより良く暮らす支援として何が必要かを職員がチームとなって検討し計画を作成しています。詳細な個人記録のほか、日々の様子や気づき、家族の意向、医療機関の意見を支援経過表に纏め、情報を蓄積しています。多角的視点を盛り込み利用者本位の計画書作成に尽力しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングやカンファレンスがより有効に計画書見直しに繋がるよう、ケアマネジメントの仕組みを新たに考案し実施しています。計画と連動した個人記録方式をはじめ、基本情報とアセスメントを融合した独自シートは3～6ヵ月の期間で更新し、状態変化や新たな家族の意向が生じた際はその都度修正し、現状に合った計画の見直しを行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	施術サービスを週一回無料で提供し続けており、利用者が順番待ちするほどの高いニーズに応えています。個別の外出・買物支援、必要時にホーム車支援サービスを行なうなど、利用者・家族のニーズに柔軟に応える仕組みを確保しています。		

旭川市 グループホーム プランタンⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族が希望する医療機関への受診支援を家族の協力もいただきながら支援し、受診内容は関係者間で情報の共有化を図っています。訪問看護師による健康管理や歯科往診体制は確保していますが、定期的な往診体制については今後の課題となっています。	○	現状は、必要時に医療機関に往診を依頼する体制となっています。今後、利用者の重度化による利用者・家族の通院の負担軽減も図っていきけるよう、往診医との連携・協力関係を築き、更なる医療体制の整備について期待します。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携体制、夜間緊急時対応を契約書・重要事項説明書に明示しています。看取りの考え方や支援方法等を記した重度化した場合における指針書を入居時に家族に説明し同意書をいただいております。利用者の状態変化によって、段階的に関係者全員で検討し方針の共有を図っています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの権利を保障し、人格を尊重する支援の徹底に努めています。利用者の尊厳を守ることを馴れ合いの中で不適切な対応になっていないかをミーティングで確認しています。個人情報における守秘義務や書類等の取り扱いに留意し、法令を遵守しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員が利用者に合わせていく姿勢で暮らしを支援しています。利用者の望む過ごし方を引き出すため、利用者が表出する内容を職員間の申し送りや個人別記録で検討し、日々の希望を職員全員が対応できるように取り組んでいます。		

旭川市 グループホーム プランタンⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に満足感を持っていただけるような食事の提供や食事一連の作業に力を発揮していただくことを大切に支援しています。食事部会で利用者の嗜好を反映した献立を立案し、行事食・外食・祝膳・出張寿司などを取り入れ、食事に変化をつけ、美味しく楽しむようになるよう工夫しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回以上は入浴できるよう支援し、必要時のシャワー浴や入浴日以外は清拭をして清潔保持に努めています。浴室までの同伴者・洗身介助者の職員が連携し、利用者への安心感に繋がるよう言葉かけの工夫や相談しながら、一人ひとりにあった入浴がスムーズに支援されています。柑橘湯を提供し季節感にも取り組んでいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	「利用者の生きがいを発見し受け止め提供する」を柱に、習慣や希望、有する力を踏まえ、何が役割や楽しみごとになり得るかを把握し支援しています。家事や畑仕事、文化祭作品作り、芋版画、カラオケ、ホーム内外のレクリエーションなど、場面作りを多彩に行ない生きがいに結び付けています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の喜びや楽しみ・力の発揮・外出先での他者との関係性を育むことも大切にして様々な場所へ外出しています。日常の買物や散歩のほか、季節に応じた見学や地域の祭典、行政施設体験、教育機関の祭典行事など、気分転換や五感刺激の機会に配慮した外出支援に取り組んでいます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は施錠により利用者にもたらす心理的な不安や閉塞感について十分理解しています。玄関は夜間のみ施錠し、夏場を除き内側の風除室ガラスドアはやむを得ない事情により施錠していますが、運営推進会議で説明し家族にも了解をいただいています。	○	風除室のドアはユニットドアとして利用しています。利用者の状況を勘案しながら安全策を高めて、夏場以外でも日中帯の開錠ができるよう、検討する考えを示していますので、その取り組みに期待します。

旭川市 グループホーム プランタンⅢ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常災害時の対策について重要事項説明書に明示し、スプリンクラー設置が完了しています。年2回昼間想定の実践的訓練を消防署の指導をいただいて実施していますが、夜間想定訓練及び地域住民の方々の協力体制、災害に備えた備品、食料等の確保については今後の課題としています。	○	災害はいつ、どの時間帯で発生するか分からず、夜間帯においても利用者の安全確保と同時に避難誘導する方法の習得が必要です。災害に備えた備蓄品と合わせて災害種別に関しても取り組みを進める考えを示していますので、消防署・運営推進会議等で協議検討を行ないながら、地域と一体的な防災対策の強化を期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は系列ホームの栄養士のアドバイスを受け、水分量は一日1200CC以上を目途に支援しています。毎日の食事・水分摂取量を記録し、極度な不足がないよう内容を確認し支援しています。嗜好や嚥下状態に応じた食事を提供し、食が進む工夫をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ダイニングとキッチンが真近で利用者が食事作りに携わりやすく、リビングは利用者の意向を受けソファ等配置をしています。身体機能の状態に合わせた補助具の設置や両ユニットが回廊式等で繋がり、歩行訓練に活用できるなど環境面に配慮しています。手作りの装飾品や写真を掲示し生活の思い出や楽しさが蘇る工夫がされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の意向や家族の協力をいただいて、生活しやすい居室作りが支援されています。馴染みの家具や利用者が大切にしている品々が持ち込まれ、生活用品は分かりやすいように収納されています。家族からのプレゼントや写真、思い出の品が思い思いに飾り付けされています。		

※ は、重点項目。